

日八十月一

# 常磐每日新聞

定価 一月五円 三月十三円 半年二十五円 一年五十円  
 発行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日印刷株式会社  
 電話 六三〇〇  
 社址 福島県郡山市常磐町一丁目

## 人生の見方

眞 繼 雲 山

(1) 人生を觀照することは、天地ろくの見方がある、天地萬物、森羅萬象はことごとくそれが、前業所感の果報でないものはないが、人間様はその主人公であるとして、主人は正客であるからその報はれたる身を正報といふに對し、人間が依り所として以て使用して踏臺とする國土山川を依報といふそれが正報依報の見方である。

この正報依報を一つの世間として見るときは正報を衆生世間といふに對し、依報を器世間とも名づける。人生は無常生死の假りの世間であるから、それを化士といふに對し、そんな無常生死のない別の世界がある、それを眞士といふ。眞士とは金輪際動さぬまことの世界であつて、それは佛の誓願に報はれて出來てゐる世界であるから報士ともいふ。

化士は汚いから穢土といふに對し、報士は秋空一碧片鱗の穢れもないから淨土といふ。淨土は極樂、化士は苦界であるから地獄だとも言ひ得るが、苦のない人には地獄とはならぬ。涅槃

の至樂をこの地上に體驗し得るものに取つては化士も亦た極樂である。

穢土と淨土と二つあると思ふのが佛敎の入り口であり、澁柿の甘干となるやうに、その體は一にして、作用の變化に外ならぬと見るのが煩惱即菩提の考へ方である。

### ノート

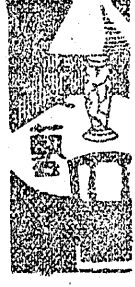
着物を着て、襦下が開いて下つて見えるのはだらしない格好ですが、これはけん先から襟先までの間の襟付の加減によるもので、襟の方がたるんで居る故です。寸法通りに伸びの來ないやうにつけることです。

但し凡聖一如、淨穢不二といふといへども、惡がそのまゝ暴なりといふの意味ではなく、元々無記であるものが因縁によつて、善と

### 二明日の献立

【朝】煮豆……うづら豆  
 【晝】煮……乾するめ、里芋  
 【晚】碗……まぐろ、ねぎ  
 もなり、惡ともなる、必ずべきは因縁であるゆゑ、つとめて善因を積み、善縁を求めねばならぬこと言ふまでもない。

斯くて苦界と見ゆる娑婆をそのまゝ淨土に立て直さうといふのが『娑婆即寂光土』を旗じるしとするは日蓮主義の第一の歩み方であり、何れの宗旨といへどもこれを眼目とせざるはない



### 常磐歌壇

渡邊 恭子

野の風を懐かしみ來て病む身よすゝき穂などのなびくさびしも  
 吾向つ崖のひかげは美しもよ紅葉する木はうるしの木らしも  
 しく……といためる胸を堪えつゝ、烟の路邊に吾れかみ居るも  
 あきらめて胸いたはりつつ歸へり來てみ親にひめて床に吾れいぬ  
 眼醒むればいたみやはらぎ夕づきぬひらき窓越し空澄むみゆる

海老澤 青楓

檜の葉のホロロと落つる夕空に何鳥ならん聲低く鳴く愚妻昨夜の夢見惡しとて故郷への父に手紙書きにけり

## 外科

専門 X  
 科線光  
 上田外科病院  
 平町南町  
 電話一二九番

毎度御ひいき  
 有難ふ御座るます  
 うなぎの御用命は  
 うなぎ 奴  
 平町田町(電話二二三番)  
 ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

## 全外科

醫學博士 渡部 義夫  
 平町田町大通り(電話二七七番)  
 渡部 外科  
 (入院應需)

三河産業博覽會 金牌受賞  
 昭和産業博覽會  
 かまぼこ 製造  
 儀用式 水産物  
 平町一丁目  
 お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
 電話一四一番

## 家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の源泉に化學的操作を加へたる草津温泉の素。家庭風呂に外用に! 温泉湯の素。冬の保健衛生に最も心ゆく温まり絶對に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其のら消毒用として特効あり。

定價 一〇〇瓦入 凡 五日分 五十錢  
 二五〇瓦入 凡 十二日分 一〇〇圓  
 六〇〇瓦入 凡 三十日分 二〇〇圓

其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈いたします。…煙突掃除樂も販賣致します。…石炭の御用命と共に是非御使用を御奨めいたします。

海岸線 石炭商 伊藤軍二商店  
 平町一丁目電話三四九番  
 代理店 販賣元草津温泉研究所營業部  
 各町村一ヶ所に限る御申越あれ  
 特約販賣募集 特に御相談に應ず。

## 江戸前料理

錦水  
 電話四五四番

## 質流れ 大廉賣

旭屋 衣裳店  
 三丁目通り  
 電話四二五番

暫く御預りを控へて御迷惑をお掛けして居りましたが整理も一段落告げましたので従前通り夜間九時までお預りを再開致しましたから御利用御引立を御願申します。

一六銀行係

# イワシが毎日

## 一萬圓宛水揚

### ▽インフレの影響で

### ▽曾つて見ない高値

## 各濱がホット一息の態

石城郡小名濱町では目下鰯漁が續き一日平均七八千から一萬圓位の水揚あり非常な活氣を呈して居るが平年大漁の際は石油罐一箱三四十錢位したが現在五六十錢と云ふ高値を續けて居る是れはインフレ景氣の影響であると共に鰯干其他の加工方面も従来以前旺盛である爲である

## 磐中生の注意

### 一層の徹底を期す

磐城中學校に於いては生徒の學習或いは服装其他に關し従來細心の注意を拂つて來た爲め漸次改善の傾向を示して居るが更らに是れが徹底を期する爲め明日全校生徒に對し左の如き印刷物を配付する事になつたと

#### 一、學習上の注意

1 第三學期は期間も短かければ特に専心眞面目に學習せよ 2 教室内の静肅に補充授業の時には隣教室の妨害とならざるやう注意すべし

#### 二、敬禮に關する注意

1 御眞影奉安庫に向ひ登校下校の際に於ける敬禮について特に注意せよ 2 同級生間並に上級生に對する禮儀について注意すべし

#### 三、服装に關する注意

1 帽子は常に清潔にし油等を塗るべからず 2 襟巻手袋は成るべく用ひぬこと 3 外套に必ず氏名を記入すること 4 外套を休憩時に用ふることを許さず 5 外套着用の要

### 養蠶指導協議 石城郡養蠶指導員會は去る十六日午前十時より平蠶業取締支所に開催左記事項を協議した

一、實態調査報告提出期限 一、實行組合指導方針及び經營組織の改善 一、實行組合總會指導事項 一、綠肥圃實研究會開催の件

教員室、事務室等に入らざること 6 往々背囊を用ひずに登校するもの無断下駄穿するもの等ありこれ亦校則を守ること注意せよ 7 上靴をつぶして穿つことを禁ず 8 上靴には自己の姓名を

## 一丈餘の高麗犬

### 縣社々頭に奉納

#### さ、れ會同人の初老記念

平第一小學校明治四十一年度卒業生諸橋久太郎外三十餘名より成るさ、れ會にては去る十六日午後六時より大真に於て總會を開き初老記念として縣社子鐵倉神社々頭に高さ五尺、臺五尺餘

## 物價騰貴に鑑み

### 收支の關係に

#### 特に留意を望む

平町役場にては本日水道部を始め各町立學校青年訓練所に對し物價は引續き騰貴の傾向を示して居るのに反し歳入豫算は財界不況の影響を受け思ふ様に行かぬ

## 町役場通牒

貴の傾向を示して居るのに反し歳入豫算は財界不況の影響を受け思ふ様に行かぬ

## 來る廿日頃盛大に

### 中の作漁港起工式

既報石城郡江名町字中の作折戸兩部落の漁港修築工事は縣の神谷技師が昨日實地測量の爲め來郡し本月廿日頃より早くも着工する模様なので江名町當局では來る廿五日頃關係者三百餘名を招待して盛大な起工式を舉行すべく是れが準備に多忙を極めて居る

## 平町物價

白米	一等一キロ	一七五
白米	二等一キロ	一七〇
白米	三等一キロ	一六五
白麥	同	一〇〇
平麥	同	一三五
味噌	一貫目	五〇〇
醬油	一升	三五〇
清酒	同	一〇〇〇
木炭	樽丸一貫匁	二〇〇
木炭	樽割一貫匁	二〇〇
砂糖	同	一〇〇
砂糖	赤	一六〇
猪肉	同	二〇〇
猪肉	並	二〇〇
牛肉	並上	二四〇
牛肉	並	二五〇

## 飾窓の硝子を破り

### 貴金屬數千圓窃取

#### 常盤屋時計店の大被害

今晚二時頃平町一丁目常盤屋時計店方ウヰンドのガラスを焼切つて陳列中の貴金屬及び時計類の殆んど大半價格數千圓を窃取逃走せる犯人あり急報に接せる平署にては直に非常線を張つて嚴戒せるも未だ就縛するに至らない

## 平職業紹介所報告

- 回人を求める方
  - △女中 二十才迄 尋卒 月四圓(平町某醫師)
  - △魚屋雜夫 二十五才 尋卒 月八九圓(小名濱町某)
  - △給仕見習 十九才 尋卒 仕着外五圓(平町某食堂)
  - △女中 二十才前後 高卒 月五圓(平町某)
- 回職を求める方
  - △事務員 二十四才 高卒 給料面談(内郷村某)
  - △雜夫 二十三才 佑賢卒 給料面談(鹿島村某)
  - △職 三十三才 尋三修 給料面談(内郷村某)
  - △收場雜夫 二十九才 高卒 給料面談(東京市某)

# 美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

# 小名築港事件

## 町民六百名が調印

久保田醫師の釋放を歎願  
場合に依つては町民大會

## 事態重大化

既報小名築港疑獄事件として問題視されて居る内務省技師高等官三等樗木篤夫氏は其後平區裁判所より釋放されたが同事件を

自首して 出た贈賄側の同町醫師久保田眞氏は未だに釋放されない爲め事件の本尊樗木技師のみ釋放され自首した者が許されぬと

は片手落の観があると昨十七日小名築港町小野三郎外五百八十餘名の町民が連署せる歎願書を平區裁判所に提出し此際久保田氏をも

不拘束の 儘取調られ度いと歎願する處あつたが前記歎願運動が効を奏せぬ場合は町民大會を開き宮城控訴院に向つて運動すると

意氣まいて居るので其の成行は非常に

注目され 居るが一方樗木技師の部下である築港所員外人夫小使等の二百餘名の者は樗木所長の無罪

を述べ平區裁判所に歎願書を提出してあり事態は益々重大化の様である

## 奉公先から貰つた

## 小遣を役場へ

## 匿名で奇特な行爲

本日平町役場へ青沼町長宛に東京市深川區無名氏として五圓の替爲券に左記の書面を添へて送付した篤志家があつたが平商業學校のマーク入りの便箋を使用して居るので同校卒業生らしく町役場では是れを手懸りに匿名氏を調査中である

此れは十五、六日の小遣に戴いたので、餘り少なくて誠に恐縮ですが、舊正月の餅も掲げない人もあるでせうから是を少しづつ分けて下さい、私は永らく平町に御世話になつて居た者です其の萬分の一でも御恩を盡したい

と努力して居ります、遠き東京にて大平町の圓滿

## 問題の種

## 理髮組合の主腦者

組合長に署長推薦説

平署管内理髮業組合では昨十七日午後一時より平署に於いて幹部會を開き来る舊正月十七日の組會定期總會の附議事項及び近く任期満了となる比佐組合長の後任問題等に就いて協議を行つたが後任組合長の選挙は從來組合員中に紛糾の種をま

く事實に鑑み新組合長に小田部署長を推薦してはとの説が有力となり當日の幹部

## 北目衛生係員

平町北目町衛生係員は改選の結果北目町衛生係員に改選の結果北目町衛生係員に改選の結果北目町衛生係員に改選の結果

## 罰金をとられる程

## 殴らないとの申立

略式命令不服の公判

双葉郡木戸村大字前原九番地農圃本眞壽(三)が同村關本久八郎を火箸で殴太し罰金二十圓の略式命令に處せられ不服とあり大嶺辯護士

明日のラジオ 十九日

今晚は天気 晴れ 日は北西の風 曇り相半

明日の部

中繼

- 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話「時計」細川武子
- 後七、三〇 講演「建築の風貌」仙臺高工教授小倉
- 後八、〇〇 琵琶「繁華」豊

- 田静世
- 後八、三〇 新内「身替り座禪」富士松喜遊外
- 後八、五五 管絃樂獨唱村
- 「組曲王取物語」實塚オ
- ケストラ獨唱三浦時子
- 後九、四〇 全國ニユース
- 氣象通報 番組豫告

告は判事の訊問に對し毆つた事は毆つたが罰金に處せられ様々な大きな傷は與へないもう一度調査して裁き度

いと申立たので被害者及び同町醫師小堀助四郎を取調べの上来る二十五日第二回公判を開廷する事になつた

平裁判たより

## 火を冠り

## 幼児生不動

母親と湯に行く途中

石城郡内郷村大字宮宇平太郎居住坑夫留太郎二男松崎春雄(三)は昨十七日午前零時半頃母親マツに伴はれて共同風呂に出掛けたが途中で誤つて転倒し

## 木村科醫院

平町五丁目橋際 電話三〇九

## 三人組強盜の

## 片破れが内郷生れ

警視廳に捕れたとの通報

石城郡内郷村生れ當時住所不定小林金作(三)は去る十五日午前二時頃同僚たる茨城縣生れ早川實(三)静岡縣生れ鈴木久次(三)と共に東京市本所區江東橋二ノ四モーター製造所石田信次郎

△白銀町一 當時東京市小石川小日向小道町一〇二波多野ヤエ(七五)

# 素来剣道

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百四十六席 千葉周作 (I)

魚屋庭に廻れ

千葉周作先生は奥州の出身で、江戸に参つて剣法を學び、一流を工夫してこれを北辰一刀流といふ、子息は英次郎と申して、これは周作先生にまざる斯道の達人實にその劍術はあざやかなものであつたさうで、人稱してこれを千葉の小天狗といふ、ところで千葉先生には多勢の門人がありますが其中にて最も傑出したし居つたは平手造酒、しかし放蕩ゆる破門した、破門はしたやうなもの、不孝の子ほど情愛が増すといふ事もあり、造酒は今何處にゐるか時々思ひ出す、と或日道場で先生が弟子に稽古を付けて居るを出入りの魚屋が武者窓の外から見てゐる

魚『あんな事をして役に立つか、時々剣術を見るけれども實地の役には立たねえ竹刀を振廻してゐるから身體の爲にはなるだらうが、イザといつた時の役に立つめえ、江戸に町道場を出してゐる奴は斬りあつたことがと無えからこんなものが役に立つと思つてゐるんだ馬鹿な事だ』  
と同じやうに見てゐた者



周『イヤ、俺から聞く、参つたらこれへ通せ』  
○『承知いたしました』  
門人は臺所へ出て待ち受けてゐる、そこへ魚屋が來まして  
魚『へエ今日は、魚屋でございます、清公でございます』  
○『ア、来たナ、魚屋、先生がナ貴様に聞きたい事があるから見えなならば伴れて参れと悠々云はれる、一緒に参れ』  
清『そいつは勘辨しておきなさい、今日はね鯉を持つてゐます、今走りて値の高

これへ伴れて参れ』  
○『なんぞ御用でございますか』  
周『しかと彼に尋ねることがある』  
○『左様でございますか、どんな事をお尋ねになりますか、わたくしから問ふて見ませう』

ないが鯉の不具かと聞きました、二本切つて賣りましたと云つたら、ウンさうかそれで判つた、ついでに聞くと鯉はどちらが前でどちらが後だ、正目に目はあるが左右に這ふ、シテ見れば一體どちらが後か、何れが前か、これには困つた、ま

い代物だ、そこを悠々と先生に話してまわれば魚をドヤしてしまふ、今日は清公は來ねえとさう云つておきなさい、先生は奥州の山國から出て來た人として鮮魚は珍しい、妙な事を聞きますよ、鯉は海にゐる時も赤い、この鯉は足が六本より

け、  
そこで魚屋の清公は庭へ入つて來て  
清『その入口の木戸をあけて置いておくんなさい、イヤと云へば逃げ出すから』  
周『魚屋』  
頭の上で呼ばれてびつくりして見ると千葉先生が縁に立つてゐる  
清『どうぞ御勘辨下さいませ、誠にとんだ事でござい

○『そんな事ではない、しかと尋ねたい事があると云はれたが、まア兎も角も庭へ廻れ、先生は怒つてゐるやうだ』  
清『そいつはあふねえ、先生が怒つてゐる庭へ廻れなぞはうれしくないな、庭へ廻ればお手討になる』  
○『馬鹿な事を云ふナ、行

一册の代金で  
御希望通りな  
五册の雑誌が  
自由に讀める  
川崎巡回文庫  
電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

米國製剝皮膚病良藥  
**レメドール**  
ヒビ、シモヤケ、ハタケ、ヤケド、キリキズ、タムシ

子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙な  
**宮 温 湯**  
丹波博士創製セキドメ

うまくてセキがヨクトマル  
**たんばあめ**  
エビ、ハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、スベテ化膿したもの、を切らずに癒る

平町古鍛冶町一〇  
**阿 康 藥 舖**  
縣社ノ下 電話四四番

**吉田眼科病院**  
平町星町、電話六八番

専門  
婦 産 科  
花 柳 病 科  
○入院隨意

**井 坂 醫 院**  
平町田町 電話五五九番

**お醤油は ヤマフル**

醤油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品

鹽 屋  
**山崎合名會社**  
福島縣平町(電話營業部)醸造工場  
明治生命鑛城代理店 山崎與三郎